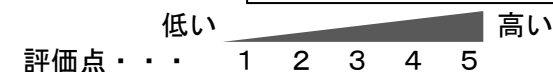


おだわら市民交流センター指定管理者自己評価表（令和4年度分）



【機能の達成状況】

名称	評価点	評価の理由	
拠点機能	3	どの事業もUMECOの機能を生かし実施できた。企画展への参加希望の団体が増加し、調整が必要となった。	
相談・支援機能	4	相談件数は増加した。ボランティア相談が36件と多く、団体運営に関する相談が9件、他は団体紹介に係る相談等で、総件数86件だった。また、スタッフ全員に相談業務に係る研修を行い、偏っていた対応者の改善を図った。	
協働支援機能	3	企業とのネットワークについては、従前の企業との協働事業を予定通り実施できた。地域とのネットワークについては、自治会関係がコロナ禍活動自粛の状況で活動できなかったが、新たに放課後児童クラブへの市民活動団体の参加を追加した。	
学習・体験機能	4	コロナ禍で休止していた夏休みボランティア体験学習をボランティア受け入れ内容等を精査し、感染防止を図りながら実施し、146名の生徒さん等が参加した。市民活動入門講座は計画通り開催したが、学校向けの出張講座等はコロナ感染対策のため実施できなかったため、団体交流会等で学校（生徒）とのコラボを図り、環境フェスタへの参加につなげた。	
交流・コーディネート機能	4	パートナーシップミーティング、団体交流会、環境フェスタとつなぐことで、団体間の交流を促進した。UMECO祭りは感染対策を取りながらコロナ禍以前の形で開催し、多くの団体の参加、市民の来館があり、交流につながった。	
情報の集約・発信機能	3	ホームページ・情報誌（UMECOだより）・FMおだわら等を活用し、団体や市民に情報を発信した。	
その他	男女共同参画	3	男女共同参画社会の推進は、市の担当部署と協働で計画通りに事業を実施し、市民の方の意識向上につなげた。
	国際交流	3	館内国際交流コーナーでの情報発信の他、登録団体による在留外国人への日本語教室の館内での開催。

【コンセプトの達成状況】

名称	評価点	評価の理由
誰でも気軽に つながりを生み出す きっかけの場	4	登録団体の活動を各事業で発表・紹介することで、事業に接した方たちの関心を高めることができ、団体に興味を持った方々が新たに団体に入会する事例も生じた。特にUMECO祭りを現地開催したことで、多くの方にきっかけの場を提供した。
シェアしながら それぞれの思いが つながる 行動の場	4	パートナーシップミーティングを開催し、多様な団体の出会いの場を提供することで新たな出会いが生じ、またその後の環境フェスタへ向け、参加した登録団体の活動主旨を理解しあった。
地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる 実現の場	3	コロナ禍、自治会の活動自粛により、地域とのネットワークづくりは進捗がなかったが、地域に密着した環境問題をテーマに「環境フェスタ」を開催したことで、来館した方々への関心を広めた。

【その他】

評価項目	評価点	評価の理由（評価点を2又は4とした場合で特別な理由があるとき、1又は5とした場合に記載）
センターの使用許可	4	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室については稼働率が上がってきており、トラブルなく貸出しできている点は評価できると考えるが、新型コロナウイルス感染防止のため以前から定員の半分以下での使用をお願いしていたものを令和3年10月以降はその制限を撤廃したにもかかわらず、利用者に対してその周知が徹底されていなかったため令和4年12月になって一部利用者から苦情が寄せられた点はマイナス評価と考える。また、UMECOの設備・サービス・運営に係る利用者アンケートの結果、スタッフの挨拶や言葉遣い、説明・対応については72～74%の方が「満足」と回答された点は評価できると考える。これらを総合的に勘案し「4」とした。 ・市民活動プラザについては、稼働率は上がってきているものの、更なる向上の余地がある点はマイナス評価と考え「3」とした。
・会議室の許可等	4	
・市民活動プラザの許可等	3	
センターの維持管理	4	<ul style="list-style-type: none"> ・UMECOの設備・サービス・運営に係る利用者アンケートの結果、9つある設問項目中、館内清掃（整理整頓）については最高値の87%の方が「満足」と回答されたことから「清掃業務」を「5」とした。 ・建築後7年余が経過し、設備・備品等の経年劣化が目につくようになってきている中で、適宜、修繕や部品交換などを行うことにより利用者サービスの維持向上に努めている。こうした取組が奏功し、UMECOの設備・サービス・運営に係る利用者アンケートの結果では「設備・備品」について74%の方が「満足」と回答された点は評価できると考えるが、貸出用付帯設備の一部で機器の更新に時間を要してしまったため、短期間ではあるが貸出しができなかった時期があったことなどはマイナス評価と考え「備品等保守管理」については「3」とした。 ・その他の項目については適切に管理できており、不具合によって事故やトラブルが発生することもなかったことから「4」とした。
・印刷機の維持管理	4	
・清掃業務	5	
・建築設備の保守管理	4	
・備品等保守管理	3	
・防火管理業務	4	
事業計画・報告等に関する業務	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書の作成・提出等の業務については、おだわら市民交流センターの管理運営に関する基本協定書に基づいて遺漏なく遂行できたことから「3」とした。
・事業計画書及び収支予算書等の作成提出	3	
・事業報告書の作成及び提出	3	
事業評価に関する業務	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者団体の代表や学識経験者等で組織する運営協議会を開催するとともに、UMECOの設備・サービス・運営に係る利用者アンケート調査を行い、利用者の意見や要望の収集等に努めた。また、頂戴した意見・要望のうち対応可能な事項、例えばホームページの修正や旭丘高校側出入口への施設レイアウト図及び当日スケジュール表の掲示等については速やかに実行に移した。これらを総合的に勘案し「利用者の意見・要望の収集」については「4」とした。ただし、「利用者会議の開催」については当初3回の開催を予定していたが、スケジュール等の都合により2回の開催にとどまったことから「3」とした。 ・市地域政策課と毎月1回の定例会議を実施し、利用の状況や施設設備に係る課題の共有等が適切に図られたことから「4」とした。
・履行状況の報告	3	
・利用者の意見、要望の収集	4	
・利用者会議の実施	3	
・市との定例会議の開催	4	
施設利用者の安全管理及び危機管理	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の新型コロナウイルス感染防止のため、貸出用付帯設備やドアノブ等のアルコール消毒をこまめに行った。また、風水害時における一時避難所開設・運営マニュアル及び災害時における一時避難所開設・運営マニュアルを整備した点は評価できると考え「4」とした。
市主催事業等への協力	4	<ul style="list-style-type: none"> ・市による特別先行予約を受け付けたほか、公用車により来館した際の駐車場料金を免除（令和4年度472件、332,600円相当）するなど、市への協力をを行った点は評価できると考え「4」とした。